



07
げつようび

れいてき せんそうの しれいかん

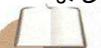
Ⅱ 列王
19章 34~35節

わたしはこの町を守って、これを救おう。わたしのために、わたしのしもべダビデのために。」
その夜、主の使いが出て行って、アッシリヤの陣營で、十八万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな、死体となっていた。

科学とは、人間が探して人間が証明できるものだけを集める学問です。それとはちがいで、聖書は人間が探すことも証明することもできない霊的な事実を説明する本です。科学が証明できない内容を語る本だということです。聖書には私たちが必ず知らなければならないことが記録されています。それは、为什么呢。

私たちがしなければならぬ霊的戦争です。この戦争を始めれば、神様は目に見えない天の軍隊を送ってくださいます。私たちはこの戦争を率いる司令官として呼ばれました。霊的戦争をする司令官には、多くの軍隊や強力な武器が必要で、神様はそれをご存じで送ってくださいます。

聖書には信仰の人が霊的戦争をするとき、神様から天の軍勢と御使いが派遣された記録があります。ヒゼキヤは霊的戦争をした王でした。彼がいろいろな国から脅迫されたとき、届いた宣戦布告状を持って神様の前に行き祈りました。そのとき神様は、天の軍隊を送ってくださり、ヒゼキヤは霊的戦争の現場に立つようになりました。私たちは、私の現場でしなければならぬ霊的戦争の司令官として呼ばれました。ヒゼキヤのように、神様が率いてくださるこの戦争で、祈りで勝利するレムナントになりましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。きょうから霊的戦争に対する目が開かれて、神様の働きの中で毎日勝利するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ヒゼキヤ王が神様の前で祈りながら霊的戦争を始めた場面です。みことばをなぞって書いて、神様が導いてくださる現場で霊的戦争をすることができるよう祈りましょう。

ヒゼキヤは、使者の手からその手紙を受け取り、
 それを読み、主の宮に上って行って、
 それを主の前に広げた。
 ヒゼキヤは主の前で祈って言った。
 「ケルビムの上に座しておられる
 イスラエルの神、主よ。
 ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です。
 あなたが天と地を造られました。
 (Ⅱ 列王9章 14~15節)



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんぶ 準備する資料



08 けいやくをつたえる みはりにん

コロサイ
4章 7～8節

私の様子については、主にあって愛する兄弟、忠実な奉仕者、同労のしもべであるテ
キコが、あなたがたに一部始終を知らせるでしょう。私がテキコをあなたがたのもとに送
るのは、あなたがたが私たちの様子を知り、彼によって心に励ましを受けるためにほか
なりません。

今はマスメディアを通して各国の首脳たちが会談する姿を簡単に見ることができ
ます。そのようなときは、首相や大統領のような国のトップによって、重要な取り
決めが行われます。そのような場面で首脳たちのそばを離れずにいて、首脳たちの口
になっている人が通訳者です。通訳の内容や意味が少しでも誤って伝えられてしま
うと、国と国の間に大きな誤解が生じますが、反対に正確な疎通ができれば重要な流
れが生まれるようになります。このような目に見えて国と国をつなぐ通訳より、さらに
重要な通訳があります。神様と世の中、また教会と世の中をつなぐみことば通訳で
す。

神様のみことばである福音と神様の計画を伝えることは、国家の仕事よりもっと
重要です。この世界を生かす福音が伝える仕事だからです。パウロの様子をコロサイ
教会に伝えたテキコのように、教会の内と外でみことばの疎通のためにみことばを
通訳して伝えている人が多くいます。このような疎通を助けるレムナントが私です。
私を通して他の言語と異なる文化圏に正確な福音が伝えられるように祈って準備し
ましょう。神様が計画された正確な時刻表通りに私を用いてくださるでしょう。



絵をかこう

日本の首相に会って福音を伝える姿を想像してみましょう。
そのときに起きることを、すでに起きたことのように思い浮かべて
細かく表現して、絵日記にしましょう。



きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily message.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。外交よりもっと重要なみことばの疎通のために
準備して祈るレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストの
お名前によってお祈りします。アーメン



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料

Grid area for writing the daily devotion.

Blank lined area for writing preparation materials.

いろいろな ぶんかの ともだちを みつけよう

使徒
8章 26~40節

御霊がピリポに「近寄って、あの馬車といっしょに行きなさい」と言われた。そこでピリポが走って行くと、預言者イザヤの書を読んでいるのが聞こえたので、「あなたは、読んでいることが、わかりますか」と言った。すると、その人は、「導く人がなければ、どうしてわかりましょう」と言った。そして、馬車に乗っていっしょにすわるように、ピリポに頼んだ。(29~31)

聖書のレムナントは、それぞれ異なる民族と異なる文化の出身でした。他の国の奴隷、捕虜、属国になっていたのですが、世界福音化という神様の計画を成し遂げることに用いられました。ピリポもアフリカのエチオピアの宦官に会ったとき、正確な福音を伝えて、神様の計画を伝えました。

私たちの学校にいる外国から移住してきた友だちやその両親は、それぞれ私と異なる国の出身ですが、一方でこのような多文化家庭の友だちが増えていきます。そのような多文化の友だちが、学校でいやな思いをしている姿を見たことはありませんか。それなら、友だちに福音を伝えて苦しみから出て来られるように助けるべきです。神様が世界福音化という神様の計画の中で重要な友だちを隠しておかれたからです。今日から、私の助けが必要な多文化の友だちとの出会いを祈りましょう。

それとともに、多文化の友だちに正確な福音を伝えることができるように準備することも忘れないようにしましょう。最初に福音のみことば、2つ目はこののみことばを伝える言語です。2つのことを準備して、多文化の友だちを生かす時刻表を待ちましょう。

きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。世界福音化の計画の中で、多文化の友だちを助けることができるくらい、福音と言語に関する準備するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ピリポがエチオピアの宦官に福音を伝えるとき、神の子どもの祝福も一緒に伝えました。神の子どもに与えられた祝福に色をぬって多文化の友だちに伝えることができるように祈りましょう。



色をぬろう



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank lined area for writing preparation materials.



いのる レムナント

もくようび

エレミヤ 見よ。わたしはこの町の傷をいやして直し、彼らをいやして彼らに平安と真実
33章 1~9節 を豊かに示す。(6)

国を代表する首相や大統領のそばには、いっしょに政策を考へる政治家がいます。しかし、彼らの中に天からのメッセージを受けた人はいません。

預言者で政治家だったエレミヤには、天からのメッセージがありました。ですから、神様の方法を知って祈ることができました。神様は、祈っていたエレミヤにイスラエルをいやして直すというみことばを与えてくださいました。

第16代アメリカ大統領だったリンカーンは、天からのメッセージを受けた代表的な政治家です。彼は、アメリカの歴史上はじめての奴隷解放を宣言して、ガラテヤ3章 28節「ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。」という天からのメッセージを伝えました。彼が伝えた政治、歴史、市民意識は数十年を操り上げる答えになりました。

今日から神様が私に与えてくださった天からのメッセージを受けるように祈りましょう。神様の計画を知るレムナントになって、未来の答えに向かった挑戦を始められるようになるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。混乱の中で、悪くなっていく時代に、天からのメッセージを持って祈るレムナントとして勝利することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

03. ちびっこレムナント

作詞：キム・ヨンソン
作曲：キム・エステル

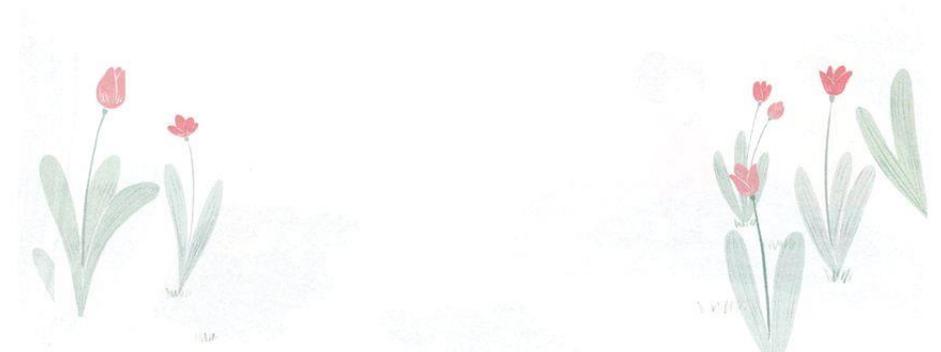
♩=110 ca.

F C/E C A7/C# A Dm7 /C

1. わ た し ち び っ こ か み の こ ど も -
2. わ た し ち び っ こ か み の こ ど も -

Bb Am Dm7 Gm7 G7/B C7

5
イ エ ス さ ま わ た し の し ゅ じ ん で す
イ エ ス さ ま じ ま ん し ち ゃ う ミ ニ 伝 道 者



きょうのでんどう

あひと 会う人

Blank space for writing the name of the person to meet.

じゅんび しりょう 準備する資料

Blank space for writing preparation materials.



レムナントが いく すべての ところに

その夜、主の使いが出て行って、アッシリヤの陣營で、十八万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな、死体となっていた。(35)

9 F C/E C A7/C# A Dm7 /C

わ た し ち び ー つ こ か み の こ ど も ー
わ た し ち び ー つ こ か み の こ ど も ー

13 Bb Am A7 Dm7 Gm7 C7 F

イ エ ス さ ま ど ん な と き も い ー つ し ょ だ よ ー
み な を の べ つ た え ま す み に 宣 教 師 ー



国境とは、国同士の領土を分ける境界線です。正しい手順を踏めば、軍隊による威嚇を受けずに様々な国の国境を越えて自由に旅行したり、貿易をしたりすることができます。ですから、大部分の人は普段の生活で国境を感じることはありません。しかし、軍隊を派遣して自分の国の主権、すなわち力を見せつける時があります。神様も軍隊を派遣して神の国の力を見せてくださるときがあります。神の子どもであるレムナントが霊的戦争を始めるときです。

神様はレムナントの行くすべての所に天の軍隊を送ってくださいます。現場で奴隷、属国、捕虜になって、サタンの権威の下にいるたましいを、福音で取り戻すときは、より一層、強い力を示してください。レムナントが福音であるイエス・キリストの御名を伝えるとき、神様は最高の関心を持ってくださり、天の軍隊を総動員してください。

奪われた現場を取り戻すための福音が伝えられるように祈りましょう。この祈りをするレムナントが行くすべての所に、神様が天の軍隊を送ってくださり、霊的戦いに勝利させてくださるでしょう。

きょうのみことば

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんぴ しりょう 準備する資料

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。行くすべての所で福音を回復する証人になって、天の軍隊が動員される祝福を体験することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

12

どうぶ

このよを かえる こくいん

創世紀

37章 1~11節

兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心に留めていた。(11)

ユダヤ人は、幼いときに本を3冊読んで覚えると言われていました。その本に福音の内容はないのですが、ユダヤ人にとって強力な人生のメッセージとして刻印されます。そのような教育によって数多くのエリートと指導者が誕生しました。イスラム教では幼いころから一日5回の定刻祈りを刻印します。ですから、どこへ行っても、祈りの時間になれば、マットを敷いてその時間を守ります。イスラム教の人々が増えたので、それに比例して空港、デパート、公共施設内の設備として彼らのための祈りの部屋ができました。このように、福音ではないメッセージでも人に刻印されれば、世の中を変えてしまうほどの力を発揮します。イエス・キリストの福音も持っているレムナントが正確にこの福音を刻印するなら、宇宙を動かすほどのすばらしいことが起きるでしょう。

ヨセフは、幼いときから世界福音化という神様の願いである夢と契約を心に刻印していました。奴隷、囚人という困難は、この夢と契約を妨げることはできず、むしろ、奴隷や囚人の状況を征服するようになりました。その後、総理になって全世界に神様を伝えるようになります。それくらい、レムナントの時期の刻印が重要です。神様から与えられた福音のみことばを心に刻印しましょう。福音で世の中を変化させるレムナントになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

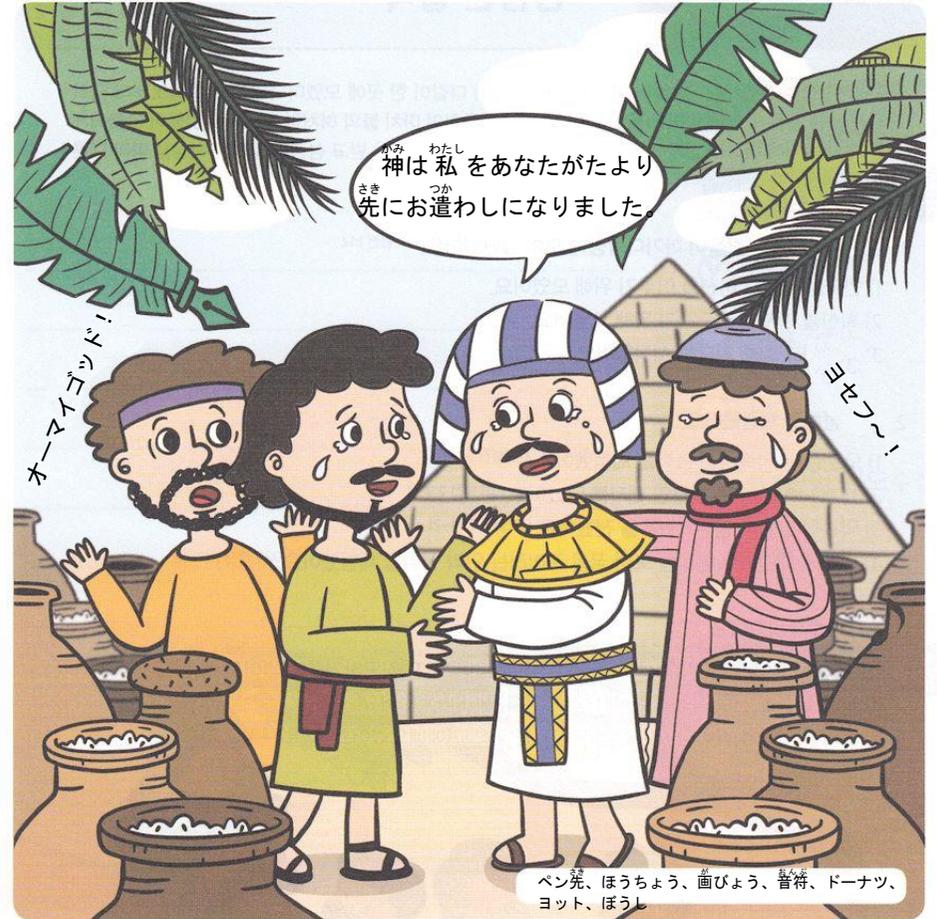
神様、ありがとうございます。私を通して、この世が福音によって変わっていきますように。そのために、まず、私に正しい刻印がはじまるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

レムナント働き人および教師セミナー(胎児乳児幼稚園)1講 | 2019.6.4



絵をさがそう

幼いときから神様からの契約の夢を持っていたヨセフがこの世を変えるレムナントになって、兄弟たちに会いました。兄弟たちと会ったヨセフの姿を見ながら、7つの隠れている絵を見つけてみましょう。



ペン先、ほうちよう、歯びよう、警符、ドーナツ、ヨット、ほうし



きょうのでんどう

会う人

準備する資料
